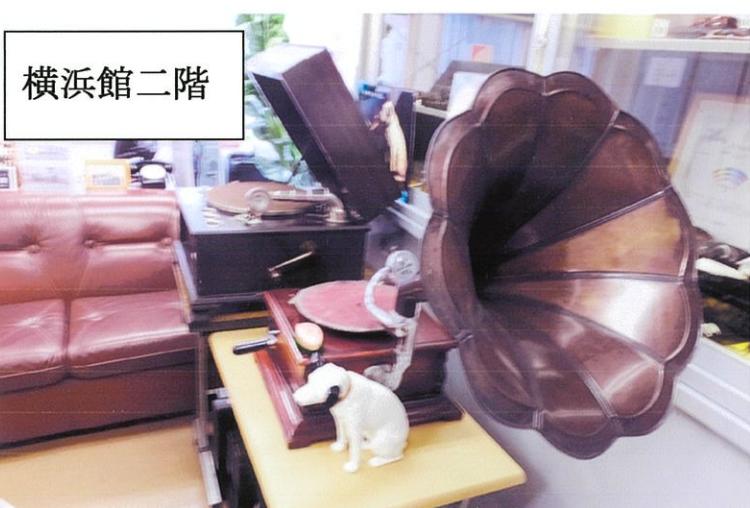


セルロイドと蓄音機・レコード盤

セルロイドハウス横浜館には、2階と3階にレコードの試聴室があってご来館の皆さまにクラシック蓄音機でクラシック音楽を楽しんでいただけるようになっています。



写真の犬がいる手前の蓄音機には蓋がありません。アメリカ・ビクターV6号(1904~11)です。1911年のカタログに100ドルと明示しています。

レコードは丸い筒型から平盤になったのも、ホーンが大きく

未だ箱に收まらない時代の蓄音機です。[犬]はビクターのレーベル(商標)。

\* \* \* \* \*

犬の名前は、ニッパー。1884年生まれで1895年に死んでいる。最初の飼い主はマーク・バローといったが、亡くなってしまったので弟のフランシス・バローという画家に引き取られた。

ニッパーがしばしば特徴のあるポーズで座るのに気がついたフランシスは、そのまた弟のフィリップスという写真家に犬の姿を写真にしてもらった。

ニッパーの死後、フランシスはその写真をもとに、エジソンのフォノグラフ機(円盤機)の前に例のポーズで座るニッパーの絵を描き「彼の主人の声」(HIS MASTER'S VOICE)という題名をつけた。

しかしフォノグラフ機のラッパは黒うるし仕上げだったので、絵のほうはあまりパットしなかった。そこでフランシスは英グラフモフォン社に行き、金ぴかに光る真鍮製のラッパの借用を申し出る。

折よく社長のバリー・オーエンに出会い「彼の主人の声」の絵の話をすると、オーエンはフォノグラフ機を自社のグラモフォン機(円筒機)に描き変えて持参するように依頼する。フランシスは依頼通りに描き変えて、1899年10月17日にグラムフォン社に持ち込んだ。



オーエンは気に言って 100 ポンドを支払ったという。そしてポスターなどを印刷して自社の宣伝に使った。しかしレコードレーベルのほうは彼が関わった「レコーディング・エンジル」のマークにこだわった。グラモフォン社がレーベルにこの犬の絵を採用したのはオーエンが退陣（1904 年）したあの 1909 年である。

一方フィラデルフィアでベルリナー・グラムフォン社を経営していたベルニナーは、1900 年に英グラモフォン社を訪ね、そこで見た犬の絵のポスターが気に入り、アメリカに持ち帰る。ビクター・トーキングマシーン社を創ったエンドリッジ・ジョンソンもこの意匠が気に入り、ひと先に HIS MASTERS VOICE のロゴと共に自社の商標に取り入れ、レコードのレーベルや宣伝広告などに広く利用した。（株式会社ショパン刊・加藤玄生・蓄音器の時代より）

\* \* \* \* \*

右の写真は、斜め横から撮りました。犬マークのビクターのレーベルが貼ってありますが、製造は 1912 年頃のグラモホン（HMV）モナークです。モナークの多くの機種のうちでは最後期のもので、グースネックのトーンアーム、10 インチのターンテーブルで 2 本ゼンマイ。マホガニー材のケースに 11 パネルの金属ホーン。

ホーンの長さ 600mm、口径 540mm。

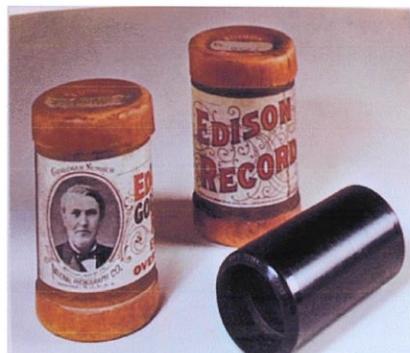
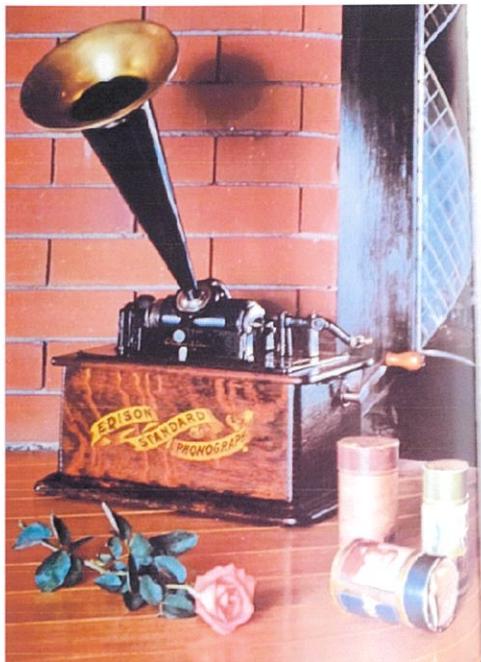


写真の二階後方の蓄音機をアップしました。蓄音機に蓋がつきました。ホーンも蓄音機の中に收まりました。コロンビアの商標「音符♪♪」が、蓋に貼つてあるのですが、私が撮ったので映っていません。が、チニーの金属製レーベルが打ってありますので、コロンビア社の歴史がお分りなると思いました。



CHENEY

\* \* \* \* \*



蓄音機は、1877（明治10）年、アメリカのトマス・エジソンによって発明されました。彼30歳の時です。

エジソンの右写真のような、蓄音機（フォノグラフ）が世界中で販売されました。当時のレコード盤は丸い筒でした。

筒の中側と外側に音声が刻まれています。筒の材質としてセルロイドなども使われたこともありました

蝶が主でしたので蝶管蓄音機と呼ばれました。

フォノグラフは当初「人の声を出す機械」と言われました。それから有名歌手、俳優などの歌や物語などが聞ける蝶管蓄音機（フォノグラフ）はアメリカ・イギリスの家庭の娯楽品の一つとなりました。

しかし、エジソンは1929年まで蝶管蓄音機の製造販売を続けたのですが、蓄音機業界の大半が平円盤レコードに移行したのでした。

\*骨董品ブームの現在、蝶管蓄音機などが東京銀座シェルマン店で展示販売されています。

\* \* \* \* \*

下の写真は横浜館3階のレコード試聴室です。





### 3階展示品（蓄音機・レコード盤）

- ①左=コロンビア蓄音機 右=ビクター蓄音機 ②ビクター手提げ蓄音機  
 ③コロンビア手提げ蓄音機 ④、カメラホーン(イギリス製)超小型蓄音機、  
 折りたたみ式でセルロイド製の球形響鳴胴がホーンの代わりをしている。⑤⑥  
 ⑦レコード盤の包み紙(中身はレコード) ⑧S盤の童謡レコード集、セルロイド  
 製 ⑨童謡歌手名簿 ⑩エジソン蓄音機の販売ポスター(販売会社 GEM)  
 \*展示の蓄音機は全て、ゼンマイ・手巻き式です。

2016(平成28)年2月24日